

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2022/11/11
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	一般社団法人日本公園緑地協会
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1967年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		55年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目9番13号 岩本町寿共同ビル2階
	事業所数(国内、国外)		国内:2ヶ所		
	主な事業所の所在地		東京:1カ所、大阪:1ヶ所		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	公園、緑地、運動場、墓園、庭園、遊園地等(総称として公園緑地)に関する調査、研究、計画及び設計を主な事業としております。
- 人材					
6	代表者	代表者氏名	代表者氏名	必須	高梨 雅明
		代表者写真	代表者写真	選択	
		代表者年齢	代表者年齢		満71歳
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		
7	経営者	役員数	役員数	選択	13名
		役員氏名及び役職名	役員氏名及び役職名		会長(代表理事) 高梨雅明 副会長(理事) 舟引敏明 副会長(理事) 涌井史郎 常務理事(理事) 浦田啓充 理事 浅野間一夫 理事 岩山恭子 理事 植村敦子 理事 近藤哲也 理事 進士五十八 理事 林まゆみ 理事 横溝博之 監事 五十嵐誠 監事 出口謙一
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	12名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	¥331,448,158(令和4年3月期の事業収益)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	¥644,349,069(令和4年3月期の事業収益)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	該当する財務監査・財務データの状況を、以下より選択する。 ①会計監査人による会計監査、②会計参与による監査、③中小企業会計によるチェックリストに基づく財務データ、④いずれでもない	選択	
17		決算公告	決算公告の実施の有無	選択	有り
- 資本関係・取引関係					
18	資本関係	株主構成	大株主の名称(上位5株主程度)、及び各々の株式保有比率	選択	
19	取引関係	大口取引先	大口取引先の名称	選択	
20		主要取引金融機関	主要取引金融機関の名称	選択	
21		所属団体	所属している業界団体、経済団体等の名称	選択	
- コンプライアンス					
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	コンプライアンス担当の役員氏名	選択	常務理事 浦田 啓充
23		専担の部署・会議体	コンプライアンスを担当する社内の部署・会議体の有無と、存在する場合は社内の部署名・会議名	選択	有り:コンプライアンス委員会、コンプライアンス事務局(総務部)
24	書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	情報セキュリティに関する基本方針・規程・マニュアル等書類の名称	必須○	情報セキュリティ規程、コンプライアンス規程、ASP・SaaS運用細則にて規定しております。
			上記の書類の経営陣による承認の有無		経営陣により承認されております。
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	勧誘・販売に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの文書名	選択	
			上記の書類の経営陣による承認の有無		
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	ASP・SaaSの苦情処理に関する基本方針・規程・マニュアル等の有無と、書類がある場合はそれらの文書名	必須	ASP・SaaS運用細則にて規定しております。	
		上記の書類の経営陣による承認の有無		経営陣により承認されております。	
- サービス基本特性					
27		サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	POSAシステム
28		サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2010/4/1
			サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		半年に1回、バージョンアップ(マイナーバージョンアップを含め)を実施しております。 なお、最終のバージョンアップは2020/05/11です。 【変更後】 半年に1回、バージョンアップ(マイナーバージョンアップを含め)を実施しております。 なお、最終のバージョンアップは2022/05/27です。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】			【記述内容】	必須/選択	申請内容
29	サービス内容	サービスの基本タイプ	アプリケーションサービス、ネットワーク基盤サービス、ASP基盤サービス、その他サービスの4つの中から該当タイプを選択	必須	アプリケーションサービス
30		サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	POSA(ポサ)システムは公園管理情報マネジメントシステムとして、「公園・施設台帳情報」はもとより現場で日々重ねられていく維持・修繕等の「施設管理情報」と、市民からの苦情や要望等の「公園運営情報」を一元化し、公園管理に関わる方々にとって常に最新の情報の提供と共有化するためのシステムです。
			他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		無し
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	POSAシステムは利用者のニーズに合わせ、プログラムを変更することなく、入力項目やアクセス権限等を容易にカスタマイズすることが可能です。入力項目の自由度が高く、管理項目にあわせて、ユーザ自身がカスタマイズすることができます。	
32	サービスの 変更・終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	3ヶ月前
			告知方法		協会ホームページ、メール、文書などにより告知致します。
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	有り: 当協会によるサービス運営が困難な場合は株式会社公園マネジメント研究所にて運営を行うことになっております。
	基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略	有り: ユーザや利用環境に負担を掛けないことを基本に、当協会と株式会社公園マネジメント研究所との間でシステムの移行作業を実施致します。またユーザには上記対応に伴う、移行支援を行います。			
	契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無	有り: 公園管理情報マネジメントシステム利用契約書の第13条に「提供を受けた資料などの全てを契約終了後速やかに契約者に返還し、受信したデータは当協会の責任で完全に消去するものとする。」といった内容を規定しております。			
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り: 窓口の名称: お問い合わせ窓口 電話によるお問い合わせ: 平日10:00~17:00(土日祝を除く) メールによるお問い合わせ: 24時間受付	
35	サービス料金	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無し
			固定部分の課金方法		対象公園数およびアクセスユーザー数に応じ段階的に課金
36		料金体系	初期費用額	必須	個別の見積もりになります。(導入時作業の内容による)
	月額利用額	個別の見積もりになります。(対象公園数及びアクセスユーザー数による)			
	最低利用契約期間	無し			
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	有り: 公園管理情報マネジメントシステム利用契約書の第11条に「本契約の解約・解除があった時点において未払いの利用料がある場合は当協会が定める期日までに支払うものとする。」また契約者が本サービスに支障を及ぼす行為を行った場合は「解約・解除の効力が発生した日から契約満了時までの期間に対応する利用料相当額を支払うものとする。」といった内容を規定しております。	
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	有り: 3ヶ月前	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	2021年10月1日～2022年9月30日の1年間におけるサービス稼働率は100%となっております。
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2 対策参照値99.0%以上
		サービス停止の事故歴		サービス停止の事故はありませんでした。
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	機器の障害検知についてはNTT東日本のクラウドゲートウェイサーバーホスティングを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、特定不可となっております。ソフトウェアの応答性については、各プロセス負荷を検知するコマンドでログを書き出し、メールを日次で送信しております。
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		各サーバーにて相互にアプリ操作のコマンドで実施し、レスポンス時間を計測、メールを日次で送信する。
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	無し
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	お客様から収集した個人情報については、本サービスをご提供する用途(契約、システム設定、サポートなど)に対してのみ利用することを同意書を用いて明示しております。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	診断対象: POSAシステム(アプリケーション)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		診断結果: セキュリティ脆弱性の発見は無し 診断頻度: 2年に1度
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	週1回(日曜日)のフルバックアップを実施しております。なお、残りの6日については差分バックアップを行っております。
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	5世代前までバックアップデータの保管を行っております。
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	システム関連は1年、アプリケーションは半年の間隔でバックアップデータの整合性をバックアップ元との比較で実施しております。
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	国土交通省がインフラメンテナンスの理念の普及・啓発を図るために募集した「インフラメンテナンス グッド・プラクティス」に掲載されています。
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付されません。
49	サービス利用量	利用者数 申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	契約先数: 15社(ライセンス数も15個)
50	代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	0社

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	POSAシステム
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	POSA(ボサ)システムは公園管理情報マネジメントシステムとして、「公園・施設台帳情報」はもとより現場で日々重ねられていく維持・修繕等の「施設管理情報」と、市民からの苦情や要望等の「公園運営情報」を一元化し、公園管理に関わる方々にとって常に最新の情報の提供と共有化するためのシステムです。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	一般社団法人日本公園緑地協会(申請者に同じ)
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称 使用していない。
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否 使用していない。		
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル 15分に1回間隔で死活監視を行っております。
		障害時の利用者への通知時間 障害を検知後、速やかにサービス利用企業の担当者に通知致します。 ・営業時間中の障害発生については60分以内 ・上記以外の時間帯については翌営業日の営業開始60分以内		
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有り:ソフトウェアに関してはアラーム検知により障害監視を行っております。但し、機器についてはNTT東日本のクラウドゲートウェイサーバーホスティングを利用しており、当該項目に関する情報が非公開のため、特定不可となっております。
56		時刻同期	必須	NTPを利用した同期を行っております。
57		ウイルスチェック	必須○	当サービスのシステムに関する各種機材はウイルス対策ソフトウェアで保護されております。パターンファイルについては提供ベンダーのリリースに合わせて更新を行っております。
58		記録(ログ等)	必須○	アクセス・アプリケーション・システムのそれぞれのログを取得しており、保存期間は1年間としております。
59		セキュリティパッチ管理	必須○	ベンダーリリース時にパッチ情報を確認し、該当する場合はテストサーバでの動作検証を経た後に運用サーバに適用を行っております。
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類 インターネット回線、LGWAN
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	お客様が利用する回線については、当サービスの責任範囲外となっております。
61		推奨帯域	必須	無し: 推奨回線速度: 10Mbps(ベストエフォート)以上
62	推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	対応プラットフォーム: Windows 10、Windows 11、iPadOS です。
		利用するブラウザの種類	必須	Microsoft Edge (Chromiumベース)、Google Chrome iPad 版 Safari、iPad 版 Chrome

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	必須○	有り: 本サービスに係るネットワークにファイアウォールを設置しております。
64		不正侵入検知	必須	無し
65		ネットワーク監視	選択	お客様が利用する回線については、当サービスの責任範囲外となっております。
66		ID・パスワードの運用管理	必須○	有り: ASP・SaaS運用細則にて規定しております。
67		ユーザ認証	必須○	ユーザID・パスワードによる認証を行っております。
68		管理者認証	必須○	有り: ASP・SaaS運用細則にて規定しております。
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	有り: サーバ証明書を取得し、SSLを利用したアクセス方式を導入しております。
70		その他セキュリティ対策	選択	ユーザ認証だけではなく、顧客毎にシステムにアクセスするURLを変更しております。
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	IaaS基盤を収容している建物はDC専用ビル。
72		所在地	必須	日本国(関東)
73		耐震・免震構造	必須	IaaS基盤を収容している建物は官庁施設の総合耐震計画基準(平成6年12月15日建設省告示第2379号)に適合。 IaaS基盤を収容している建物はPML 震度6強に対して18.8。 有(新建築基準法の基準に適合)
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	UPS 有(冗長構成) バッテリー保持時間10分以上、商用給電停電時にも無瞬断で自動切換え可。
75		給電ルート	必須	複数経路あり。
76		非常用電源	必須	自家発電機 有 48時間以上の無給油運転が可能。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	自動消火設備 有 ガス消火設備(イナージェン)設置。
78		火災感知・報知システム	必須	煙探知機を設置。
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	雷保護設備(外部避雷) 有 (JIS基準に準拠)
80		誘導雷対策	必須	IaaS基盤を収容している建物の電源設備には避雷設備を設置。 また分電盤には漏電遮断機を設置し、漏電および、過電流防止の機能を設置。
81	空調設備	十分な空調設備	選択	空冷式(一部水冷式)の空調設備 (冗長構成)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	入退館管理等	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	入退室記録 有 (ICカードにて本人性が確認された場合のみ入室可能) 保存期間 1年以上 (IDカード等の入退室ログ 1年以上保存)
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		監視カメラ 有 ・稼働時間: 24時間 ・監視カメラの監視範囲: 出入口、機器設置室内 ・映像の保存期間: 1ヶ月以上
		個人認証システムの有無		IaaS基盤を収容している建物及び機器室への入退室は、ICカード、生体認証等により、24時間365日管理される。また、共連れ防止策を実施している。
83	セキュリティ 媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	IaaS基盤はシリンダ錠による個別施錠ラックにて保管されている。
		保管管理手順書の有無		IaaS基盤内の詳細保管方法に関わる情報については非開示。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	IaaS基盤を収容している建物については、各種セキュリティシステムにより多段階のセキュリティレベルを確保。 データセンターの所在を特定する看板等はない。 入館受付から、コロケーションルーム前室、コロケーションルーム入室での多段階認証を取り入れており、各ゲートでは監視カメラによる録画監視を実施。 IaaS基盤が設置されているコロケーションルームには他の利用者が入室することはできない。 厳格な管理のもと、IaaS基盤への入出は制限している。
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	お問い合わせ電話番号: 06-6942-7666 お問い合わせメールアドレス: posa.support@posa.or.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無し
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	電話によるお問い合わせ: 平日10:00~17:00(土日祝を除く) メールによるお問い合わせ: 24時間受付
		メンテナンス実施時間		無し: 但し、必要な場合は前項の電話によるお問い合わせ時間外に実施致します。
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)
		放棄率の実績値(単位: %)		実績値は管理していません。
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		実績値は管理していません。
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		実績値は管理していません。
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	POSAシステムに関する操作方法ならびに障害対応をサポート範囲としております。
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話ならびにメールにより、サポートを提供致します。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0166-1212, サービス名称: POSAシステム, 事業者名称: 一般社団法人日本公園緑地協会

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	万一の障害発生時にも、オートフェイルオーバー機能で、自動的に正常な物理基盤へ切り替わります。
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有り: 公園管理情報マネジメントシステム利用契約書
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)
		告知方法		1ヶ月以上前に告知致します。
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		メールならびにPOSAシステムのサポート情報ページにて告知致します。
92		障害・災害発生時の通知	必須○	有り: 但し、セキュリティインシデントなどに対する緊急性の高いメンテナンスが必要な場合に限りです。
93		定期報告	必須	有り: メールならびにPOSAシステムのサポート情報ページにて告知致します。 無し

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人日本クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。